

1. 震災・復興とリスクマネジメント (○)
2. 国際都市神戸と世界の文化 ( )
3. 提言：国際紛争・対立から平和・協調へ ( )
4. グローバルサイエンスと拠点都市神戸 ( )
5. その他 ( )

[概要]

## 神戸市立渦が森小学校にて減災教育を実施しました

### 1 テーマ

神戸大学附属中等教育学校 SGH「震災・復興とリスクマネジメント」

震災(Disaster)・復興(Reconstruction)・減災(Reduction)・レジリエンス(Resilience)をテーマとしたDR3プロジェクト

### 2 目的

- (1) 身近な地域に起こった、あるいは今後起こるであろう自然災害について共に学ぶ
- (2) 災害発生時に最適な行動が出来るようにゲームを通して学ぶ
- (3) 減災アクションカードゲームを用いて、減災の重要性を周知する

### 3 活動の様子



実施前の最終確認



基礎内容・大川小学校についての報告



授業風景



減災アクションカードゲーム実施



事後反省会

### 4 参加生徒の所感

今回、渦が森小学校における減災教育に参加することができたことをとてもうれしく思っています。今回の目的は DR3 の学びの成果を社会に還元することでしたが、自分はそのような経験をしたことがなく、本当に小学生相手に防災、減災について教えることができるのかと不安に思っていました。しかし、何回か繰り返していく内にどの部分を強調して言えばいいのかなどを理解することができ、小学生とも多くのコミュニケーションを取ることができました。これからはこのような活動に参加していきたいと思えます。(5年生 E くん)

私は今回初めて渦が森小学校の児童に減災アクションカードゲームを教えに行きました。サブマスターとして問題の解説を行なっている時、時間が余ってしまったのですが、その時震災の知識を上手に伝えることが最初はできなかつたので DR3 として私の知識不足、力不足を感じさせられました。児童たちと減災アクションカードゲームを実施していると、新しい考えを得ることが多々あり、私自身とても勉強になりました。とても有意義な時間を過ごすことができたと思えます。(5年生 N さん)

被災地に何度か訪れて、その度に感じることは地元へ還元する使命です。その使命を果たすためにこういった活動を続けていきたいと改めて思いました。昨年度、先輩方に引っ張っていただいたように、今度は私たちが引っ張っていく番になりました。色んな経験していくにつれて、自分が強くなっていくように感じています。(5年生 T さん)

今日は小学生と一緒に減災アクションカードゲームを行ってたくさんの考えや意見を小学生の皆さんから聞くことが出来ました。小学生の皆さんの反応が良く、こちらもすごくやりやすい雰囲気でした。どのように説明すればいいのかなどを授業を重ねる毎に考えていくことが出来ました。教えるだけでなく小学生の皆さんからもたくさんのことを学びました。今後の DR3 活動において良い経験となりました。(4年生 M さん)